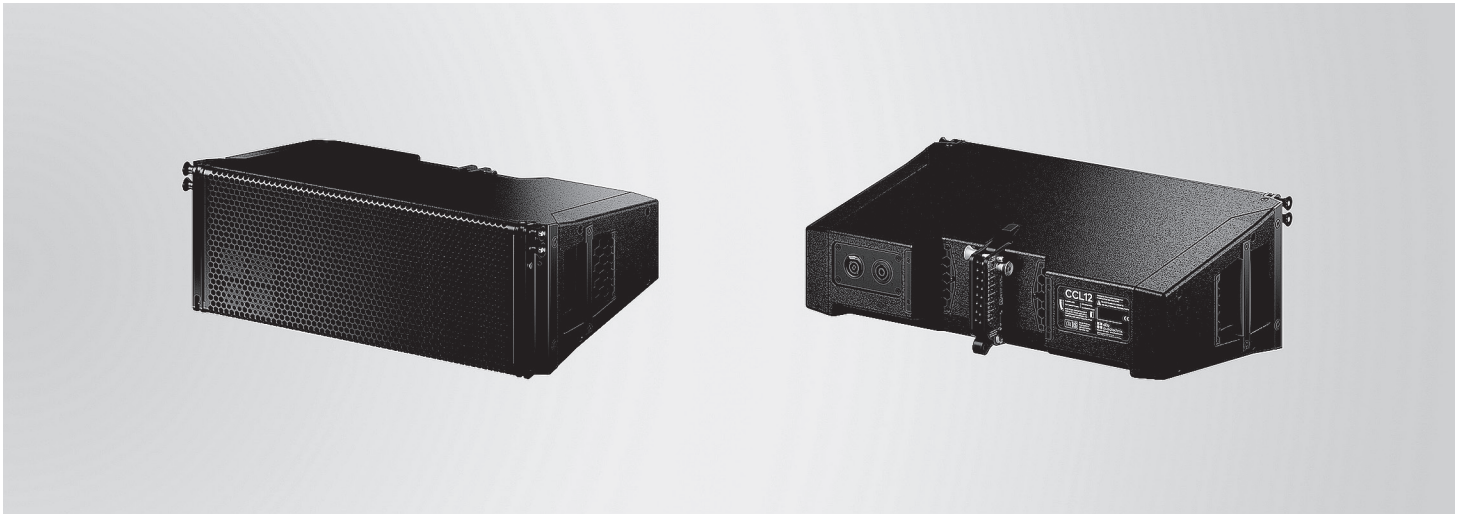
CCL12 ラウドスピーカー



CCL12は、小規模から中規模のSR用のコンパクトなカーディオイドラインアレイスピーカーです。CCLフライングフレームを使用すると、最大24台のキャビネットを垂直に並べて吊り下げることができ、120°のコンスタントな水平指向特性を生成します。
このキャビネットは、2ウェイパッシブ設計で、前面に2つのネオジウム7インチLFドライバー、側面に2つのネオジウム5インチLFドライバー、そして専用のウェーブガイド上に取り付けられた2つの1.75インチHFコンプレッションドライバーを内蔵しています。各キャビネットの円筒状のウェーブセグメントはつながりの良い特性により滑らかに合成されます。隣接するキャビネット間のスプレー角度は、1°刻みで0°から14°の範囲で設定できます。
すべてのコンポーネントはキャビネットのセンターを軸に対称に配置され、完全に対称な指向特性を生み出します。この設定により、隣接する周波数帯域が滑らかにオーバーラップするクロスオーバー設計が可能となり、非常に一貫性のある正確な水平指向性を実現します。
前面および側面のLFドライバーの絶妙な配置により、全動作周波数帯域に渡り安定した指向特性が維持されます。
周波数特性は62Hzから18kHz以上にまで伸びています。
キャビネットの筐体は射出成形（ABSポリカーボネート）で、耐衝撃性と耐候性のある2K仕上げが施されています。フロントバッフルおよびキャビネットの側面・後部ポートには、音響的に透過性があり撥水性のある布地で裏打ちされた堅固な金属製グリルが組み込まれています。
各サイドパネルにはハンドルが付いており、背面にはさらに2つのサポートハンドルが備えられています。

d&bアンプ

d&b audiotechnikのスピーカーは、d&bのアンプでのみ動作させるように独自の設計がされています。これらのアンプは、d&bのシステムアプローチに関連する性能、信頼性、長寿命を実現するために調整された包括的な制御・保護機能とともに電源を供給します。
d&b D40アンプは、適切なスピーカーセットアップを選択してCCL12スピーカーを駆動するのに推奨されています。
d&b D90およびD80アンプも使用できます。

システムデータ

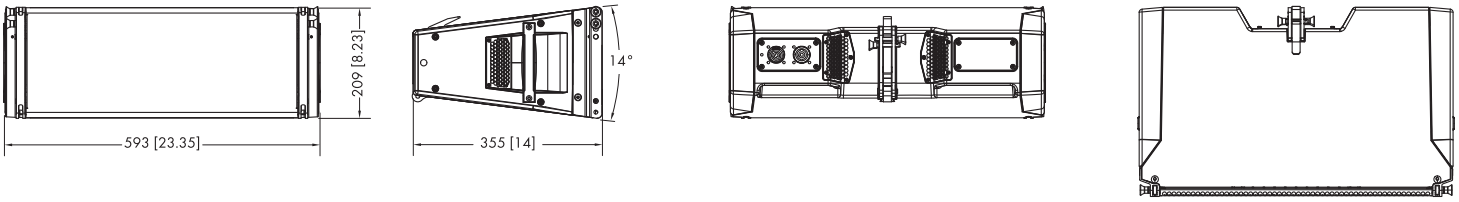
周波数特性（-5 dB 標準）	62 Hz - 18 kHz
周波数特性（-5 dB CUTモード）	110 Hz - 18 kHz
周波数特性（-10 dB 標準、IEC60268）	58 Hz - 18 kHz
周波数特性（-10 dB CUTモード、IEC60268）	78 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル（1 m、無響音場）	
D40/D80/D90使用時	136 dB
	（SPLmax：ブロードバンドシグナル IEC60268）

スピーカーデータ

公称インピーダンス 前面/後面	8 Ω
定格出力（RMS/ピーク 10 ms）	400/1200 W
公称指向角度（水平）	120°
スプレー角度設定	0...14°（1°刻み）
コンポーネント	2 x 7” フロントLFドライバー
	2 x 5" サイドLFドライバー
	2 x 1.75" HFコンプレッションドライバー
	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター	NLT4 F/M
ピンアサインメント	1+/1–
重量	17.6 kg（39 lb）

d&b audiotechnik

CCL12 ラウドスピーカー



CCL12キャビネット寸法（mm [インチ]）

Copyright © 02/2025, d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

用途

- 小規模から中規模のSRアプリケーション
- コンサートホール
- 礼拝堂
- 劇場
- クラブ、ライブミュージックホール

特徴と利点

- 低域におけるカーディオイド技術により全帯域でコンスタントな指向特性を実現
- 優れたブロードバンドヘッドルーム
- 1つのアンプチャンネルのみで駆動可能
- ArrayProcessingの使用によりリスニングエリア全体でレベルと音色バランスを最適化
- ArrayProcessingが不要な少ない台数のアレイでは、2つのスピーカーをリンクしてLine/Arcモードで駆動可能
- 効率的なケーブルシステムとアンプラックアセンブリ
- 運搬を容易にする構造